

2023年8月25日 第3442回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 横須賀RC藤村会長、横須賀RAC望月会長、
三浦学苑高等学校IAC川村会長
- <斉 唱> 「それこそロータリー」「ローターアクトソング」
「インターアクトソング」
- <ゲスト紹介> *横須賀市環境部環境政策課 計画調査担当 中村 彰 吾 様
*青少年交換留学生 Chia-YuanWEN (Sam) 君
- <会 長 報 告> *第2回第1グループ三役会の報告
- ・8月18日(金)に第1グループ三役会があり、地区米山委員会三荒委員長から米山寄付金の納入状況と寄付依頼があった。
 - ・年間計画について
 - 1月12日(金)第1グループ合同例会 場所：横須賀商工会議所。
 - 10月25日(水)地区合同ポリオ・デー 場所：大和市「シリウス」
「夢の音楽祭」と銘打ち、チャリティーコンサートと小沢元RI理事によるEnd Polioの基調講演を行う。チケット代2,000円、50枚の割り当てがクラブに来ている。クラブで10万円を支出し購入予定。
 - 11月5日(日)第1グループEnd Polio募金活動 場所：どぶ板通り
 - 3月30日(土)第1グループIM
 - ・第1グループの青少年交換特別委員会を立ち上げた。委員長は当クラブ八巻会員。各クラブ幹事もしくは青少年奉仕委員長をメンバーとする予定。
- *第2回理事・役員会の報告
- ・今年度の奉仕基金のプロジェクトについて
 - ・10月6日(金)～7日(土)の親睦旅行会について
 - ・「わんぱくフェスティバル」協賛金について
 - ・情報集会について 10月27日(金)セントラルホテルにて開催
 - ・Wi-Fi購入について
- <RAC 会長報告> *年間テーマを「躍進思考」とし、チーム全体で共通の目標に向かい大きな成果を得たい。月2回通常例会を行い、12月10日(日)の地区大会に向け準備を進めている。9月2日(土)は親睦例会として米山梅吉記念館へ行く計画を立てている。10月にはフリーマーケットに参加する。下半期は就活構成イベントを計画するなど新しい活動を考えている。横須賀RCにも協力願いたい。
- <IAC 会長報告> *募金活動、清掃活動を行っていくので協力願いたい。
- <委員長報告> *米山奨学生 齋藤真且カウンセラーから米山奨学セミナー報告(鈴木幹事代読)
- 8月20日(日)14時から藤沢相澤ビル8階で、米山奨学セミナー・カウンセラー研修会が開催され、当クラブから土田匡明米山委員長、私は今年度米山奨学生李世林さんのカウンセラーとして、地区役員として小山美智恵・比護友一会員が出席した。小山美智恵地区米山奨学委員長の開会挨拶の後、田島敏久ガバナー、三荒弘道米山委員会委員長が挨拶した。当地区ガバナー事務所から米山記念奨学会事務局長に移籍された柚木裕子会員が米山奨学金の歴史・経緯を説明、第5代米山親善大使で中国出身の陳瑤氏は自身の奨学生体験を話した。立川公一米山学友委員会副委員長が寄付の現状と推進の話をし、休憩を挟み戸張雅仁米山奨学委員会副委員長が世話クラブとカウンセラーの役割について、危機管理の立場から石田隆危機管理委員会委員長による奨学生とカウンセラー間のハラスメントについて実例を交えて説明を、府中洋米山奨学

委員会副委員長が自身のカウンセラー体験談を披露した。松下孝ガバナーノミニーによる講評、田島富美子米山学友委員会委員長の挨拶により閉会した。

*ローターアクト委員会臼井委員長から猿島での合同例会の案内

例会終了後、猿島にて合同研修会を行う。配車割により順次「猿島ビジターセンター」へ向かってほしい。

<幹事報告> *本日は合同例会ということでタウンニュース社安池編集長が取材に来場している。

<出席報告> *出席委員会 小平委員から8月25日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
119名	107名	73名(5名)	34名	5名	72.90%

メークアップ 小沢会員 地区委員会出席、齋藤(眞)会員 地区セミナー出席

新倉(定)会員 横須賀西RC例会出席、鈴木(孝)会員 横須賀北RC出席

植田会員 第2回理事役員会出席

<ニコニコ報告>

- ・三 役 横須賀市環境部環境政策課計画調査担当 中村彰吾様、タイムリーなプラスチックゴミ問題についてよろしくお願い致します。
- ・児 玉、石 田、木 村、小佐野、梁 井、立 石、南、福 西、
小 平、前 川、若麻績、二 瓶、田 邊、澤 田、田 中、各会員
横須賀市環境部環境政策課計画調査担当 中村彰吾様、ようこそお出でくださいました。本日第1部の卓話を楽しみにしております。また猿島で行われる第2部もよろしくお願い致します。
- ・石 田、高 橋、権 田、岡田(眞)、田 村、前 川、杉 浦、徳 永、八 巻、根 岸、小山(眞)各会員
青少年交換留学生 Chia-Yuan WEN (Sam) 君、ようこそ横須賀RCへいらっしゃいました。例会をお楽しみください。
- ・三 役 望月会長、川村会長、ローターアクト・インターアクトの皆様、本日合同例会！暑さに負けずよろしくお願い致します。
- ・臼井ローターアクト委員長 インターアクト、ローターアクトの皆様ようこそいらっしゃいました。本日は合同例会を楽しみましょう。よろしくお願い致します。
- ・岩 崎 会員 誕生月祝いとして
- ・石 田、大野(眞)、苺 山、小 澤、小佐野、松 岡、萩 原、椿、
齋藤(眞)、小林(-)、新倉(眞)、田 邊、八 巻、北 村、八 木 各会員
本日の3クラブ合同例会は盛りだくさんなので大変楽しみです。親睦活動委員会、ローターアクト委員会、インターアクト委員会の各委員の皆様いろいろとご準備いただきありがとうございます。
- ・前 田 会員 岩場の歩行はまだ自信がなく、本日の猿島は不参加とさせて下さい。暑い日ですが楽しんできて下さい。
- ・4番テーブル加藤(眞)マスター、大石サブマスター メルキュールホテル横須賀5階「コンコルド」で4番テーブルミーティングを開催しました。高橋副会長をはじめ、鈴木幹事、角井SAAにご出席頂き肥肉厚酒をいただきました。時間の経つのも忘れ、楽しい一時を過ごすことができました。ご出席いただいた皆様ありがとうございます。メルキュールホテル横須賀総支配人の竹株会員には、いろいろとお心遣いいただき感謝申し上げます。
- ・石 田、江 口、上 林、曾 我、杉 浦、角 井 各会員 8月18日(金)、メルキュールホテルにて4番テーブルミーティングが開催されました。加藤元章マスター、大石サブマスター、ご準備有難うございました。高橋副会長、鈴木幹事、角井SAAご出席ありがとうございます。竹株会員、入会日に初テーブルお疲れ様でした。
- ・竹 株 会員 8月18日に4番テーブルミーティングをメルキュールホテルにて開催して頂きありがとうございます。色々とお話が聞け大変楽しい会となりました。
- ・比護親睦活動委員長 FAXにてご案内した「会員親睦旅行会」は10月6～7日で熱川温泉、米山梅吉記念館、沼津方面に行きます。素晴らしい眺めのホテルで普段の疲れを癒しましょう。

沢山のご参加をお待ちしております。

- ・石田、児玉、加藤、中村、長島、高橋、岩崎、長尾、岡田、上林、小林(-)、谷、曾我、徳永、浅葉、角井、松本(脚) 各会員
- 慶應義塾高校、全国高等学校野球選手権大会、107年ぶり2度目の優勝感動しました！
神奈川県勢としては湘南・法政二高、東海大相模、桐蔭学園、横浜に続く6校目の全国制覇です。「陸の王者」の復活、おめでとうございます！

<卓話> 横須賀市「海洋プラスチックごみ対策アクション宣言」

横須賀市環境部環境政策課
計画調査担当 中村彰吾様

卓話者紹介 比護友一会員

横須賀市では横須賀の豊かな海を守るため、2020年9月15日に「海洋プラスチックごみ対策アクション宣言」を表明しました。この宣言に基づき卓話では横須賀市環境部環境政策課計画調査担当 中村彰吾様を迎え、卓話を頂きます。この卓話の後、中村様も猿島へ一緒に行って頂き、清掃活動をして下さいます。よろしくお願いいたします。

卓話 中村彰吾様

皆さん、こんにちは。このような場に招いて頂き、ありがとうございます。

“ごみ”といっても、様々な課題があります。例えば、食品ロス、災害ごみ、プラスチックなどがあります。食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことで、食べ残しや、家庭で賞味期限や消費期限切れによって廃棄される食品などが該当し、1人1日あたり茶碗1杯分の食べ物が捨てられている計算になります。災害ごみは、普段の家庭から出るごみとは異なり、地震や水害などの災害によって発生したごみを指します。災害ごみは、集積所には出せず仮置場へ持ち込んで頂く必要があります。仮置場へ持ち込まず、災害ごみを路上に出されてしまうと、路上にごみが堆積し、車両の通行が阻害されます。プラスチックについては、令和4年4月に「プラスチック資源循環促進法」が施行され、容器包装プラスチックだけではなく、製品プラスチックをリサイクルする動きが高まっています。本市でも、本年10月から製品プラスチックを含めたリサイクルを行うため、分別変更を行います。

卓話のテーマである「海洋プラスチックごみ」も重要な課題の1つです。皆様は漂着ごみやマイクロプラスチックという単語を耳にしたことはありますか？漂着ごみとは、海や海水の流れにより、海岸に打ち上げられたごみを指します。マイクロプラスチックとは、波や紫外線等の影響により、5mm以下になったプラスチックのことを指します。海洋プラスチックごみは世界規模で発生していて、その量は1億5千万トンに及びます。1年間で800万トンのプラスチックごみが海に流入していて、ジェット旅客機に換算すると5万機分に相当します。このまま行くと、2050年には魚よりプラスチックごみの量が多くなるといわれています。

では、海洋プラスチックごみはどのような影響を与えるのかというと、1つは生態系・漁業への影響です。例えば漁業で使う網などが海に流れてしまうと、海洋生物に絡まり、傷ついたり死んだりしてしまいます。さらに、マイクロプラスチックを魚が餌と間違えて飲み込んでしまうと、魚に影響を与えるだけでなく、その魚を食べた人の健康にも悪影響を及ぼします。それだけではなく、海が汚れることで、観光やスポーツ



でその地を訪れる人も減ってしまいます。特に、海に面している本市は、海産物や景観、マリンレジャーなど様々な面で海の恩恵を受けているので、横須賀の海を守っていかなければなりません。そのような背景もあり、本市は、「海洋都市 横須賀」として、豊かな海を守るため、令和2年9月15日に「海洋プラスチックごみ対策アクション宣言」を表明しました。現在、町内会・自治会等も含め236団体に賛同して頂いています。本市からは賛同事業者に対して、トンゴやごみ袋などの清掃道具の貸し出しを行っています。また、賛同事業者の取り組みを支援させて頂いています。そして、取り組みの報告を受けた際は、ホームページ等で取り組みを紹介しています。また、賛同事業者はロゴマークを使用できます。その他にも、ロゴマークが入ったステッカーやマグネットシールを希望される方に渡しています。それでは賛同事業者の取り組みの中から、今年度実施されている取り組みをいくつか紹介させて頂きます。1つ目は、㈱リフレックスが行っている「よこすかSEAプロジェクト」です。取り組み内容は市内の4つの海岸での清掃活動と、清掃活動で回収したごみの分析と公表です。年4回実施し、季節ごとのごみの量や組成について調査を行います。年4回のうち、第1回は5月28日に、第2回は8月20日に実施し、市内の賛同事業者を含む団体や学校、また、本市もこのプロジェクトに参加していて、一緒に清掃活動を行っています。回収したごみの分析結果などは㈱リフレックスのホームページで公表されています。「よこすかSEAプロジェクト」で検索して下さい。2つ目の取り組み例は、国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）の海岸ごみの常時モニタリングに関する取り組みです。海岸や河口等にモニタリングカメラを設置し、一定時間ごとに画像を撮影します。撮影したデータは、AIを用いて分析し、海岸漂着ごみの被覆面積や海面に浮遊したごみの個数をカウントします。カメラは三浦半島を一周するように様々な海岸や河口等に設置します。現在、設置予定の21基中、13基のカメラを設置済みです。また、本市とJAMSTECは、地域の発展と海洋科学技術の水準の向上のため、包括連携協定を締結しています。今回の取り組みによって、本市は河川や海岸などのリアルタイムなモニタリングや、モニタリング結果による清掃コストの推定やコスト削減などのメリットが考えられます。さらには、海岸ごみの流出元を辿ることで、街中や海岸におけるごみ回収計画の立案の参考とすることができます。JAMSTECとしては、河川や海岸などのモニタリングデータの収集や、AIの高度化への活用といったメリットがあります。また、ごみの集中する場所や季節、気象条件を理解したり、さらには街から河川、そして河川から海岸へのごみ流出の流れの解明に繋がります。3つ目の取り組み例は、NPO法人海さくらが開催した「昭和ロックごみ拾い」です。NPO法人海さくらは、2005年から江の島を拠点に「目指せ！日本一楽しいゴミ拾い！」を合言葉にビーチクリーンやイベントを実施する団体で、「昭和ロックごみ拾い」は、音楽のチカラで海とみんなを元気にするイベントです。こちらのイベントは令和5年5月20日に開催され、長浜海岸でごみ拾いを、長井海の手公園ソレイユの丘でライブを行いました。参加者は昭和のスターたちと一緒にごみを拾い、昭和魂が溢れるライブを楽しみました。

ここから本市の取り組みについて紹介させて頂きます。まず1つ目は「おもてなしクリーン清掃」です。これは、本市職員によるボランティア清掃で、「“まち”をきれいにして、気持ちよくイベントに参加してもらおう！」という想いで実施しています。過去には、よこすか開国花火大会やよこすかカレーフェスティバルの前日におもてなしクリーン清掃を実施しています。2つ目は「クリーンよこすか運動」です。「クリーンよこすか運動」とは、「私たちの町は私たちの手によって」を合言葉とした全市的に行う美化活動やあいさつ運動のことです。「クリーンよこすか市民の会」は、クリーンなまちづくり運動を推進する市民公益活動団体で、市民全員が会員です。本市は事務局を務めています。取り組みとしては、「クリーンよこすか運動」のポスターや標語を本市の児童や生徒から募集し、市の施設に展示したり、街頭キャンペーンとしてポイ捨て防止の呼びかけやごみ拾いなどを行っています。また、「クリーンよこすか市民のつどい」の開催に合わせ、先ほど賛同事業者の取り組みでも紹介したNPO法人海さくらと連携し、令和4年11月19日にごみ拾いイベントを実施しました。さて、賛同事業者や本市の取り組みを紹介して来ましたが、海のごみを減らせば海はきれいになるのでしょうか？皆さんは海ごみのうち、何割が陸から出たごみか、ご存知でしょうか？海ごみのうち、約8割は陸から出たごみといわれています。海岸や河川でのポイ捨てだけでなく、陸で捨てられたごみが側溝や川を経由して海へ流れ出てしまいます。海のごみを辿っていくと、海のごみは川から出て、川のごみは“まち”から出ます。先ほど紹介した中にも“まち”でのごみ拾いといった取り組みがありましたが、“まち”全体のごみを減らすことも重要です。“まち”と“海”の両方のごみを無くし、一緒に横須賀の豊かな海を守りましょう。

<閉会・点鐘> 13:30 横須賀RC藤村会長、横須賀RAC望月会長、
三浦学苑高等学校IAC川村会長

週報担当 石田裕樹

例会終了後、第2部合同研修会開催 14:30 乗船

猿島公園清掃活動・猿島ガイドツアー 17:00 乗船・到着後解散